

タイトル

噴火災害を語り継ぐメモリアルデー

今から30年前、雲仙普賢岳の災害は、旧深江町と島原市をはじめ、島原半島に甚大な被害をもたらしました。9月15日には、当時の大野木場小学校の校舎・体育館を火砕流によって焼失しました。

大野木場小学校では、毎年9月15日をメモリアルデーとして、噴火災害の記憶を語り継ぐとともに、自然災害に対する防災意識を高める機会としてきました。

今年度も下記のとおり、メモリアルデーを開催します。

なお、今年度は被災から30年という節目の年のため、例年より30分程度拡大して実施します。

記

日時:9月15日(水) 午後1時45分~3時30分

場所:大野木場小学校 体育館

参加者:大野木場小学校 児童104名、教職員、保護者、来賓

内容:5年生と6年生の災害学習の発表

災害体験者の講話

「生きていたんだね」作詞作曲者の寺井一通さんのお話

全校児童による群読と歌

備考:実施計画添付

| | | | |
|--------------------------|--------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当部署 | 大野木場小学校 | 担当者 | 山外 誉 |
| 直通 | 0957-73-6713 | E mail | ohnokoba-es@minami-shimabara.jp |
| 詳しくは <small>☎</small> | | 検索ワード | 大野木場小学校 |
| 担当者 連絡先 | 0957-73-6713 | | |

大野木場メモリアルデー2021 実施計画

1. 趣 旨

雲仙・普賢岳の災害は、旧島原市・深江町をはじめ、島原地方全体に甚大な被害をもたらした。安全・安心な町づくりを進める中で、旧大野木場小学校の校舎・体育館等が火砕流により焼失した9月15日をメモリアルデーとし、これまでの学習の成果の発表の機会とするとともに、メモリアル集会を通して、噴火災害の記憶を後世に伝える。また、砂防事業の重要性や防災に対する意識を高める機会とする。

2. 期 日

令和3年9月15日（水） 13:45～15:30

3. 場 所

南島原市立大野木場小学校 体育館

4. 日程及び内容

| メモリアルデー2021 | | 司 会・・・企画・運営委員会児童2名 |
|-------------|----------------------------------|--------------------|
| 13:45～13:46 | はじめの言葉（司会の児童） | |
| 13:46～13:49 | 校長挨拶 | |
| 13:50～14:05 | 5年生の発表（15分程度） | |
| 14:05～14:20 | 6年生の発表（15分程度） | |
| 14:20～14:45 | 講話 高柳忠昭先生と土手野和広先生（当時の先生） | |
| 14:45～14:55 | 休憩 | |
| 14:55～15:10 | 講話 寺井一通さん （「生きていたんだね」についてのお話） | |
| 15:15～15:25 | 詩の群読・歌「生きていたんだね」全校合唱 | |
| 15:26～15:30 | お礼・終わりの言葉（司会の児童） | |